

3月14日（月）

きょうは、「春雨スープ」に使われている“春雨”についてのお話をします。

“はるさめ”は、およそ800年前の鎌倉時代かまくらに、中国から初めて日本に伝わったと言われていて、その時は、昔の中国の呼び方の“唐”とうという言葉がついて「唐麵」とうめんと呼ばれていました。しかし、その見た目が春に降る細い雨にに似ていることから、春の雨と書いて“春雨”はるさめと名づけられました。また、中国で初めて作られたのは、1000年も前と言われていています。

今ではとても身近な食材ですが、“春雨”には意外と古い歴史のある食品です。苦手な人にがてはあまりいないと思いますが、ぜひ残さずに食べるようにしましょう。